



## 60歳のつどい 人生3度目の成人式 さらなる充実を誓う

60歳のつどい（同実行委員会主催、丹内勉実行委員長）は2月8日、ふれあい宿舎グリーンテージで39人が出席し行われました。

「世界はつながっている～SDGsという視点から見た葛巻町～」と題して地域おこし協力隊の高野嘉明さんが講演。小さな取り組みが世界の動きにつながっていることを伝えました。

参加者たちは、気心知れた仲間たちとの会話を楽しみながら、節目を契機に人生のさらなる充実を誓っていました。



3度目の成人式を迎え決意を新たにされた参加者の皆さん

## 元木地区のひなまつり 鮮やかな飾りに心弾む

元木自治会婦人部（元村トモ部長）主催のひなまつりは2月29日と3月1日の2日間、元木生活改善センターで開催され地域住民らおよそ約60人が訪れました。

所狭しと飾られた色鮮やかなつるし飾りやひな飾りが目を楽しませ、空間に彩りを添えていました。訪れた人たちは、同地区の婦人グループ「ひだまりサークル」の皆さんから飾りの縫い方を教わり、会話に花を咲かせながら慣れた手つきで仕上げっていました。



話の花を咲かせながら手元に集中し飾りを仕上げている参加者の皆さん

## 新婚ライフ＆住宅取得 5世帯に補助金を交付

新婚ライフサポート金と住宅取得補助金の交付式は2月25日、町長室で行われ5世帯が出席し、鈴木重男町長から補助金が贈られました。

1月に住宅を取得した星野柁平さん（26歳、茶屋場）は「住宅取得補助金をいただきました。これからは、町民として頑張ります」と話してくれました。これまでの交付件数は次のとおりです。

住宅取得補助金	平成29年度から	26件
定住奨励金	平成21年度から	32件
新婚ライフサポート金	平成23年度から	76世帯



鈴木重男町長から住宅取得補助金を受け取る星野柁平さん

## 40歳のつどい 人生2度目の成人式 交流深める共同作業

40歳のつどい（同実行委員会主催、服部健実行委員長）は2月22日、森のこだま館で20人が出席し開催されました。

参加者たちは、ブランデーとチーズ作りを体験。あまりなじみのない作業に、始めは戸惑い気味でしたが、声を掛け協力しながら完成させていました。また、第2部として行われた交流会では自分たちで作ったチーズとブランデーが並び、みんなで味を確かめながら満足げに会話を弾ませていました。



チーズ作りを楽しむ参加者の皆さん

## Interview

### 県立葛巻高校 46人が巣立つ

県立葛巻高校（木村基校長、生徒129人）の卒業式は3月1日、同校で行われ46人が通いなれた学びやを後にしました。くずまき山村留学制度を利用して入学した第3期生の2人に町で過ごした3年間の思い出を伺いましたので、ご紹介します。



山内 雄斗さん  
神奈川県藤沢市出身

Q 3年間を振り返って

A 山にマツタケが生えたり、熊が出たりと驚きが多かったですが、人の温かさに触れ、いろいろな人と簡単に密接に関わることができる環境だったと思います。

Q 一番の思い出は？

A 月並みですが、高校生活の日常のすべてが一番の思い出です。日々の生活の中で成長を実感することができ、毎日の学校生活一つひとつが心に残っています。

Q 最後にひと言

A 第1次産業に関わる仕事をしたいと思ひ、さまざまな経験ができる山村留学を選択しました。大学に進学するので、学生のうちにたくさんの人と関わりを持ちながらビジネスプランを立てたいです。勉強は自分が出たいと思えば、どこでも、いくらでもできます。積極的に行動し、たくさん経験の積み重ねで、なりたい自分をつくれると思います。



松本 拓馬さん  
神奈川県川崎市出身

Q 最後にひと言

A 葛巻高校は、町民の皆さんとの距離が近く、関わりが持てたり学校の先生が親身に接してくれることが魅力だと思います。町外に就職しますが、成長していつか葛巻に戻ってきたいです。